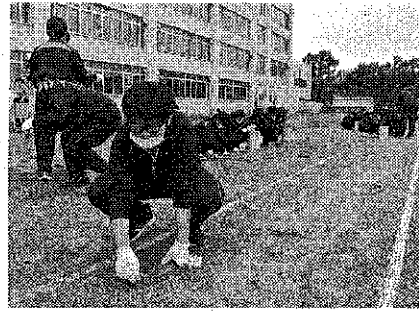


中高合同で校庭の 石拾いと草取り

【白糠】白糠高校（田村信明校長、生徒68人）と同校に一時移転している町立白糠中学校（佐藤毅校長、生徒79人）の全校生徒と教職員が校庭の石拾いと草取りを行った。同中学校は7月に体育祭を予定しているが、校庭には石や雑草が多く、走り回れない状態だったため、中高の連携強化やボランティア精神の醸成を兼ねて合同で6月25日に実施した。

校庭に1列で並び、草削りやスコップ、ねじり鎌といった道具も使って50分ほどかけてバケツに石や草を拾い集めた。前島涼誠さん（中3）は「3年生にとつて最後の体育祭のために、校庭をきれいにしてくれて

石や草を除去する生徒



ありがたい」。加藤望さん（高3）は「友達と話しながらの作業は楽しい。きれいな校庭なら誰もけがしないしやる気も出るのでは」と話していた。（水谷友路）